

情報システム棚卸し等業務に係る情報提供依頼書 (RFI)

1. 背景

当法人は大学と附属病院を有しており、双方が運用する情報システムは多岐に渡り、部分最適によるシステムの機能重複や属人化、ベンダーロックイン、予算のブラックボックス化が課題とされています。これらを第三者視点で客観的に可視化・分析し、経営判断に耐えうるロードマップとして策定するため、外部パートナーの知見を求めています。

2. 目的

今後5か年程度を見通した「クラウド活用」「AI活用基盤の整備」「情報セキュリティ（ゼロトラスト）強化」「全学的なガバナンス体制の構築」を統合的に推進し、持続可能で強固な経営・運用体制の構築を目指しており、そのための基礎資料整備です。

3. 業務概要：次世代ガバナンス構築とクラウド・AI活用を見据えたシステム診断

以下3つの区分で業務を進めることを想定しています。

(1) システム関連棚卸し	大学・附属病院の業務システム、教育研究支援システム、ネットワーク、クラウド、保守契約、回線等を網羅的に把握。研究室や診療科が個別に導入している非公式IT（シャドーIT）についても調査を行う。
(2) 棚卸し結果を踏まえた分析	機能重複、老朽化、属人化に加え、ベンダーロックイン度合い、ゼロトラスト適合可能性、AI活用可能性、データ品質・標準化状況、クラウド利用料の変動リスク等を高度な評価軸で客観的に評価。
(3) ロードマップの検討	分析結果に基づき、今後5か年の各システムの維持・更新・統合・廃止・クラウド移行等の方向性、優先順位、概算費用を整理。あわせて、今後の新規システム・AIサービス等の導入に係る学内事前審査フロー（ITガバナンス）の制度設計支援。

4. 情報提供依頼事項

調達仕様書の策定に向け、貴社が持つノウハウやアプローチについて、以下の観点から具体的な情報提供をお願いいたします。

① 調査・分析手法の提示

当法人の現状に即し、短期間で高い粒度の成果を得るための具体的な手法についてご提示ください。

- ・事務局が関知しにくい研究室・講座・診療科レベルのシャドーIT（各部署で独自に構築したNAS、個別クラウド、AIサービス等）を実効性高く把握する独自の調査アプローチやノウハウ。
- ・既存運用のバイアスに引きずられず、システムのベンダーロックイン度合いや、ゼロトラスト適合可能性、AI活用可能性を客観的かつ段階的・定量的に評価するための評価軸や分析フレームワーク。

② 他の国公立大学・大規模医療機関における同種事例

- ・貴社がこれまでに手掛けられた、大学と病院が混在する組織、あるいは同等規模の法人におけるシステム棚卸し・ITロードマップ策定支援の実績についてご開示ください。
- ・過去の成功事例だけでなく、全学的な調査やガバナンス構築の過程で発生しがちなボトルネックや、陥りがちな失敗事例及びその回避策に関する知見。

③ 実効性のある実施体制とプロジェクトマネジメントの想定

本業務は大学・病院の多くの部署へのヒアリングや調整が発生します。

- ・営業幹部ではなく、実際に現場で実務をリードするプロジェクトマネジメント担当者に求めるべきスキルセット及び貴社で想定されるメンバー構成（経歴概要）。
- ・当法人職員の負担を最小限に抑えつつ、必要な調査粒度と速度を確保するための、当法人と貴社側の具体的な役割分担イメージ。

④ 概算スケジュール及び費用感

本業務を遂行するにあたり、現実的な想定スケジュールおよび概算費用をご提示ください。

- ・標準的な所要期間（例：6ヶ月、10ヶ月など）と各フェーズのタイムライン。
- ・業務一式にかかる概算費用及び内訳（人件費、棚卸しツール利用料等がある場合はその費用、等）。

5. 提出書類および提出方法

提出書類

- ・情報提供書（様式自由。上記「4. 情報提供依頼事項」を満たすもの）
- ・概算内訳

提出期限

令和8年7月3日（金）17:00 必着

提出方法

当法人担当者宛てに電子メールにて送付

6. 留意事項

- ・本RFIは、今後の調達に向けた情報収集、仕様検討、実現可能性、市場動向、概算費用、調達方法等に関する情報を広く収集するための市場調査です。
- ・本RFIは、契約相手方の選定、入札参加資格の審査、事業者の事前評価又は将来の契約を約束するものではありません。
- ・本RFIへの参加又は不参加、回答内容、ヒアリング対応等は、将来実施する調達における参加資格、評価、選定結果等に影響しません。
- ・情報提供にあたり必要となる費用は、すべて提供者の負担とさせていただきます。
- ・ご提供いただいた情報・資料は、当法人内での検討目的以外には使用せず、秘密を厳守いたします。ただし、法令、規程、情報公開制度その他の適用がある場合は、その定めに従います。
- ・本RFIに関する口頭での説明、回答又は意見交換は、本学の正式な意思決定又は将来の調達条件を構成するものではありません。
- ・将来の調達に必要な重要情報については、調達公告、仕様書、質問回答等により、調達参加者に対して公平に提供します。
- ・提出された資料は返却いたしませんのでご了承ください。

7. 本件に関する問い合わせ先

情報推進室（担当：糸井/寺田）

住所：060-8556 北海道札幌市中央区南1条西17丁目

E-mail：itokyo@sapmed.ac.jp /TEL：011-611-2111（内線24150）

※お問合せは可能な限り書面又はメールによりお願いいたします。